

令和6年3月18日

交通事故概況

令和6年2月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(2月末計上数(確定数))

1 令和6年2月末の交通事故発生状況

区分\内容	2月中		2月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	811	5	1,615	41
死者数(人)	3	0	9	-7
傷者数(人)	980	16	1,957	80

[過去10年、2月中2月末の推移]

区分\年別	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	過去平均		R6年
											10か年	5か年	
2月中死者数	10	8	12	4	10	4	10	8	8	3	8	7	3
2月末死者数	19	16	21	10	27	9	17	16	15	16	17	15	9
年間死者数	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131	151	134	—

都道府県別(2月中)

順位	1	2	4	5	20
都道府県名	千葉	愛知	広島	大阪	東京
死者数	15	12	11	9	3

都道府県別(2月末)

順位	1	2	4	5	16
都道府県名	千葉	兵庫	愛知	東京	大阪
死者数	25	22	21	20	9

2 交通死亡事故の発生状況(主なもの)

(1) 2月中の死亡事故(死者3人)

- 事故類型別：正面衝突が2人(66.7%)、人対車両が1人(33.3%)
- 道路別：道道、市町村道、高速道路が各々1人(33.3%)
- 地形・道路形状別：市街地カーブが2人(66.7%)、非市街地直線が1人(33.3%)
- 発生時間別：4～6時が2人(66.7%)、12～14時が1人(33.3%)
- 第一当事者年齢別：30歳代、50歳代、高齢の運転者による死者が各々1人(33.3%)
- 第一当事者違反別：前方不注意が2人(66.7%)、最高速度が1人(33.3%)
- 死者年齢別：40歳代、50歳代、60～64歳の死者が各々1人(33.3%)

(2) 2月末の死亡事故(死者9人)

- 事故類型別：
 - ・正面衝突が4人44.4%(うち過労運転によるものが2人50.0%)
 - ・人対車両が3人33.3%(うち前方不注意が2人66.7%)
 - ・車両単独が2人22.2%(うち前方不注意が2人100.0%)
- 道路別：
 - ・道道が4人44.4%(うち正面衝突が3人75.0%)
 - ・国道が2人22.2%(うち車両単独が2人100.0%)
 - ・市町村道が2人22.2%(うち人対車両が2人100.0%)
- 地形・道路形状別：
 - ・非市街地直線が5人55.6%(うち正面衝突が3人60.0%)
 - ・市街地交差点が2人22.2%(うち人対車両、車両単独が各々1人50.0%)
 - ・市街地カーブが2人22.2%(うち人対車両、正面衝突が各々1人50.0%)
- 発生時間別：
 - ・10～12時が3人33.3%(うち正面衝突が2人66.7%)
 - ・4～6時が2人22.2%(うち人対車両、正面衝突が各々1人50.0%)
 - ・12～14時が2人22.2%(うち正面衝突、車両単独が各々1人50.0%)
- 第一当事者年齢別：
 - ・高齢運転者による死者が5人55.6%(うち正面衝突が3人60.0%)
- 第一当事者違反別：
 - ・前方不注意が5人55.6%(うち人対車両、車両単独が各々2人40.0%)
 - ・過労運転によるものが2人22.2%(正面衝突が2人100.0%)
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が6人66.7%(うち人対車両、正面衝突、車両単独が各々2人33.3%)
- シートベルト非着用者：

自動車(二輪を除く)乗車中の死者6人中、シートベルト非着用者は3人(50.0%)であり、その全員がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

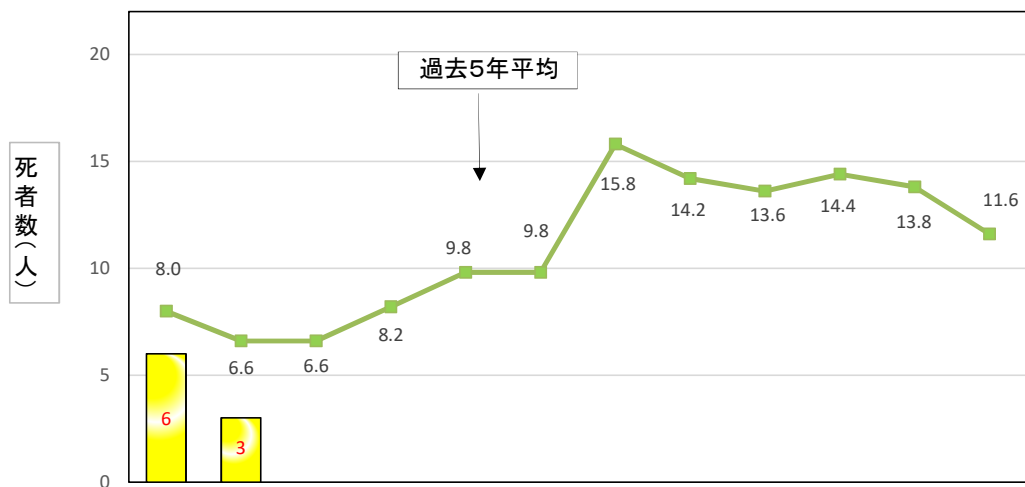
(3) 方面別発生状況

2月中の死者数は札幌方面が3人(100.0%)となっている。
2月末の死者数は札幌方面が5人(55.6%)、旭川方面、北見方面が各々2人(22.2%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数			
		前年比		前年比		前年比			前年比		前年比		前年比		
2月中	全道	811	5	3		980	16	2月末	全道	1,615	41	9	-7	1,957	80
	札幌方面	626	28	3	1	767	49		札幌方面	1,233	67	5	-6	1,521	126
	函館方面	37	-17			40	-29		函館方面	83	-14			89	-29
	旭川方面	58	-13		-1	73	-8		旭川方面	132	2	2	-2	165	15
	釧路方面	70	15			79	19		釧路方面	138	8		-1	151	8
	北見方面	20	-8			21	-15		北見方面	29	-22	2	2	31	-40

(4) 月別発生状況の推移

2月中の死者数は3人で過去5年平均6.6人を下回っている。
2月末の死者数は9人で過去5年平均14.6人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	6	3											9
年間累計	6	9											
過去5年平均	8.0	6.6	6.6	8.2	9.8	9.8	15.8	14.2	13.6	14.4	13.8	11.6	132.4
累計平均	8.0	14.6	21.2	29.4	39.2	49.0	64.8	79.0	92.6	107.0	120.8	132.4	

(5) 都道府県別死者数

2月中は千葉県が15人で最も多く、次いで愛知県、広島県が各々12人、大阪府が11人、東京都が9人で、北海道は3人で20位となっている。

2月末は千葉県が25人で最も多く、次いで兵庫県、愛知県が各々22人、東京都が21人、大阪府が20人で北海道は9人で16位となっている。

区分\都道府県	千葉	愛知	広島	大阪	東京	長野	静岡	兵庫	神奈川	岐阜	全国	北海道
2月中死者数	15	12	12	11	9	9	7	6	6	6	185	3
ワースト順位	1	2	2	4	5	5	7	8	8	8	-	20
前年比	6	2	5	-1	2	5	5	0	-1	4	15	0
増減率(%)	66.7	20.0	71.4	-8.3	28.6	125.0	250.0	0.0	-14.3	200.0	8.8	0.0

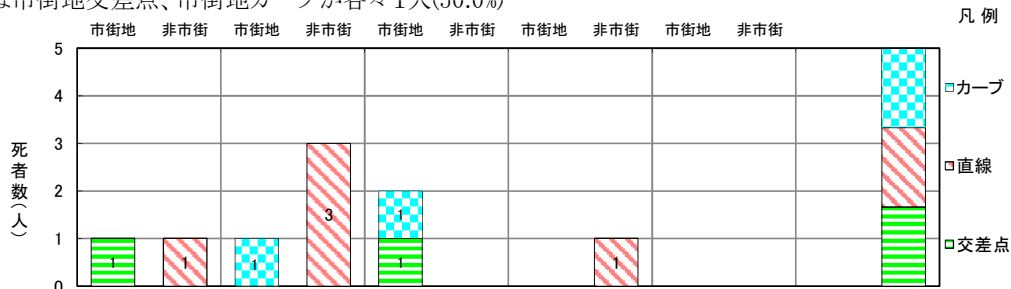
区分\都道府県	千葉	兵庫	愛知	東京	大阪	福岡	広島	神奈川	岐阜	静岡	全国	北海道
2月末死者数	25	22	22	21	20	18	17	13	12	12	405	9
ワースト順位	1	2	2	4	5	6	7	8	9	9	-	16
前年比	1	7	6	5	-6	1	3	-5	8	7	18	-7
増減率(%)	4.2	46.7	37.5	31.3	-23.1	5.9	21.4	-27.8	200.0	140.0	4.7	-43.8

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道が4人(44.4%)、次いで国道、市町村道が各々2人(22.2%)となっている。

- ・ 道道は非市街地直線が3人(75.0%)
- ・ 国道は市街地交差点、非市街地直線が各々1人(50.0%)
- ・ 市町村道は市街地交差点、市街地カーブが各々1人(50.0%)

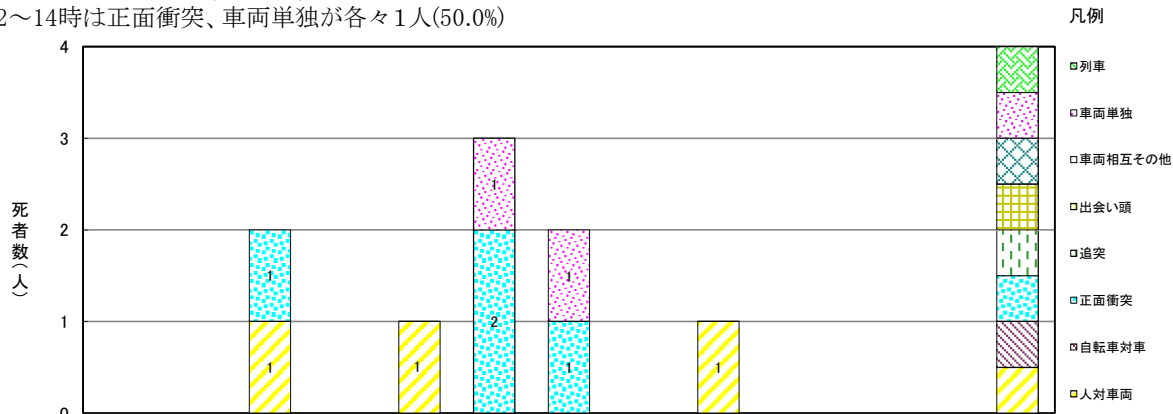


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	2	4	2	1		9
構成率(%)	22.2	44.4	22.2	11.1		100.0
過去5年構成率	42.5	28.8	20.5	4.1	4.1	100.0

(2) 時間別

10～12時が3人(33.3%)、4～6時、12～14時が各々2人(22.2%)となっている。

- ・ 10～12時は正面衝突が2人(66.7%)
- ・ 4～6時は人対車両、正面衝突が各々1人(50.0%)
- ・ 12～14時は正面衝突、車両単独が各々1人(50.0%)

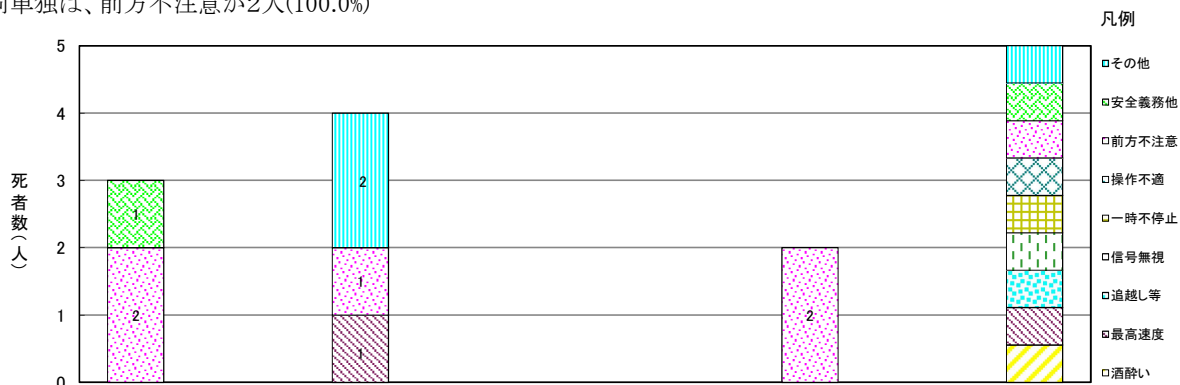


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数			2		1	3	2		1				9
構成率(%)			22.2		11.1	33.3	22.2		11.1				100.0
過去5年構成率	2.7	1.4	5.5	6.8	6.8	17.8	19.2	13.7	9.6	9.6	2.7	4.1	100.0

(3) 事故類型別

正面衝突が4人(44.4%)、人対車両が3人(33.3%)、車両単独が2人(22.2%)となっている。

- ・ 正面衝突は、過労運転(その他に含まれる)によるものが2人(50.0%)
- ・ 人対車両は、前方不注意が2人(66.7%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が2人(100.0%)



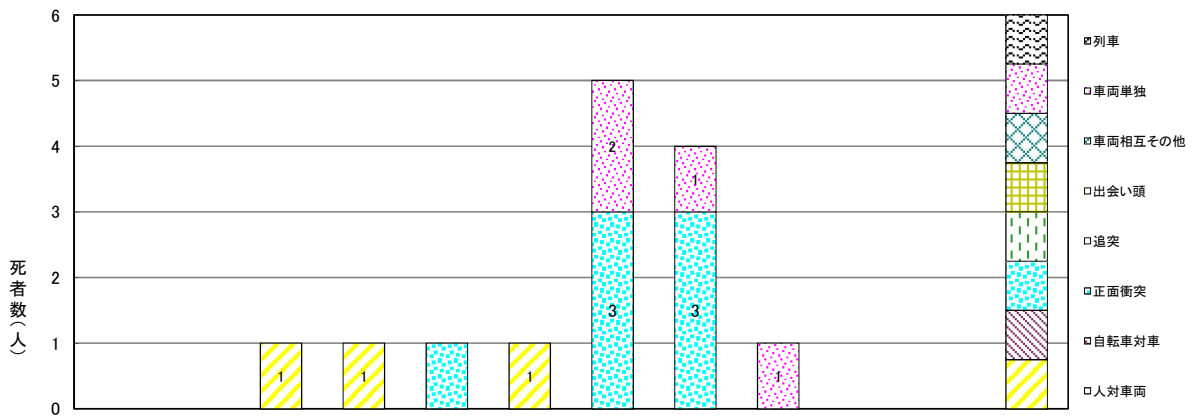
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	3		4			2		9	
構成率(%)	33.3		44.4			22.2		100.0	
過去5年構成率	30.1	1.4	30.1	1.4	16.4	2.7	16.4	1.4	

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が5人(55.6%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、正面衝突が3人(60.0%)、車両単独が2人(40.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数			1	1	1	1	5	4	1			9
構成率(%)			11.1	11.1	11.1	11.1	55.6	44.4	11.1			100.0
過去5年構成率	4.1	2.7	15.1	26.0	11.0	5.5	34.2	9.6	8.2	16.4	1.4	100.0

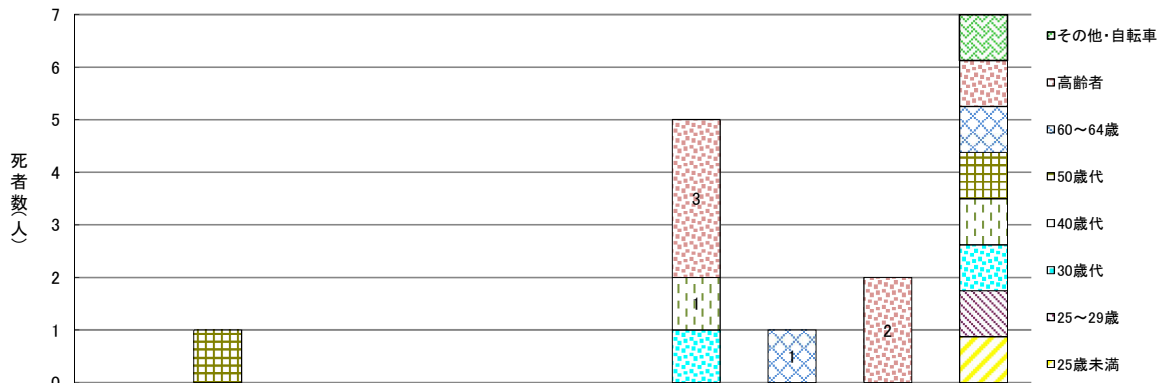
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが5人(55.6%)、次いでその他の違反(過労運転を含む)によるものが2人(22.2%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者による死者が3人(60.0%)
- ・ その他の違反(過労運転を含む)は、高齢運転者による死者が2人(100.0%)

凡例



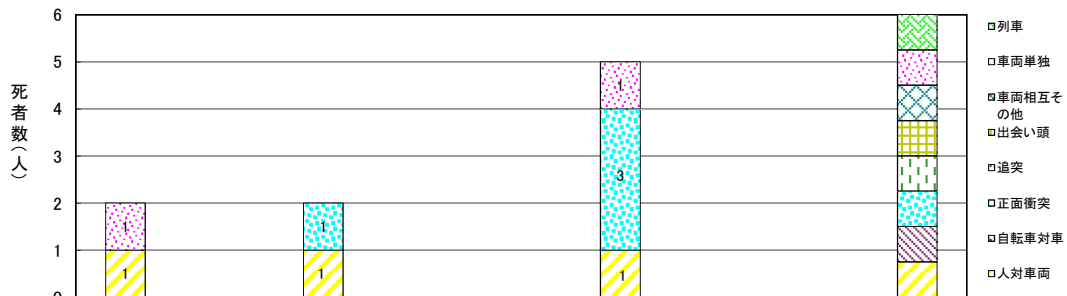
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数			1				5	1	2	9
構成率(%)			11.1				55.6	11.1	22.2	100.0
過去5年構成率			4.1	6.8	5.5	2.7	19.2	32.9	28.8	100.0

(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が5人(55.6%)、次いで市街地交差点、市街地カーブが各々2人(22.2%)となっている。

- ・ 非市街地直線は、正面衝突が3人(60.0%)
- ・ 市街地交差点は、人対車両、車両単独が各々1人(50.0%)
- ・ 市街地カーブは、人対車両、正面衝突が各々1人(50.0%)

凡例



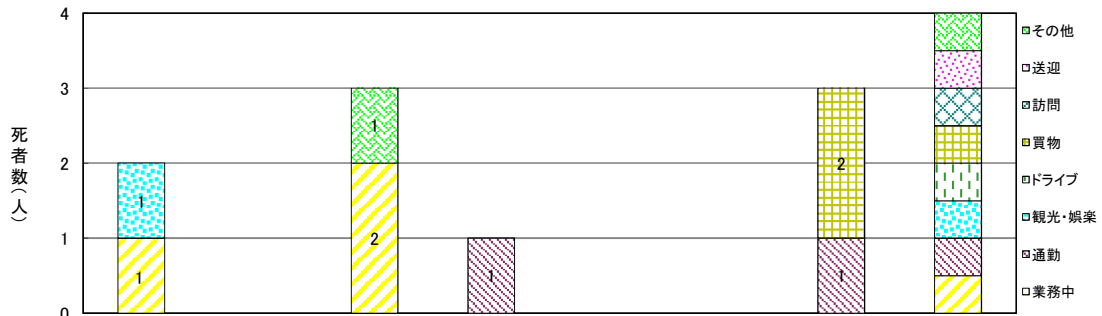
地形道路形状別 区分\	市街地			小計	非市街地			小計	計
	交差点	直線	カーブ		交差点	直線	カーブ		
死者数	2		2	4		5		5	9
構成率(%)	22.2		22.2	44.4		55.6		55.6	100.0
過去5年構成率	26.0	13.7	4.1	43.8	12.3	32.9	11.0	56.2	100.0

(7) 曜日別

火曜日、土曜日が各々3人(33.3%)となっている。

- ・ 火曜日は、業務中が2人(66.7%)
- ・ 土曜日は、買物が2人(66.7%)

凡例



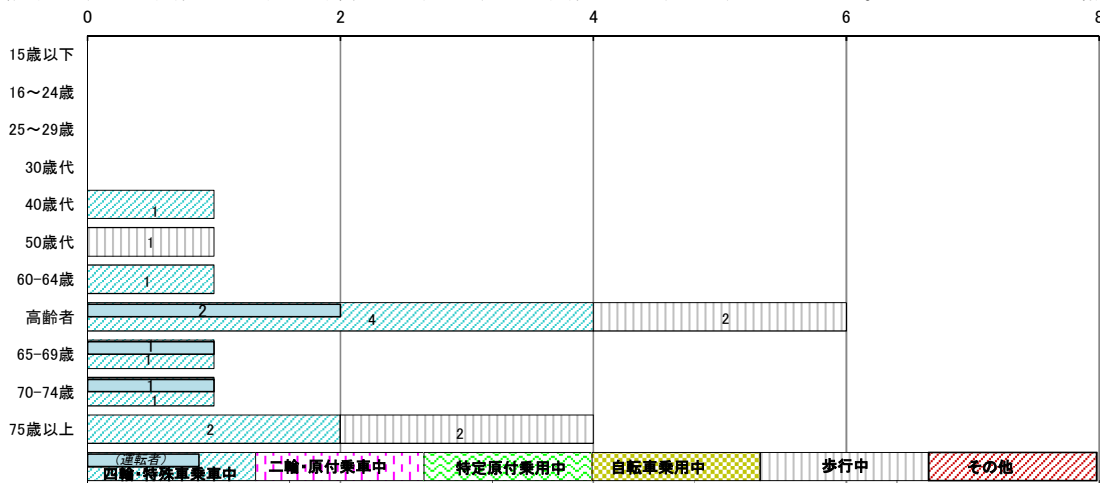
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	2		3	1			3	9
構成率(%)	22.2		33.3	11.1			33.3	100.0
過去5年構成率	15.1	11.0	16.4	8.2	16.4	16.4	16.4	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者が6人(66.7%)となっている。

四輪乗車中の死者数が6人(66.7%)、次いで歩行中の死者数が3人(33.3%)となっている。

死者数(人)



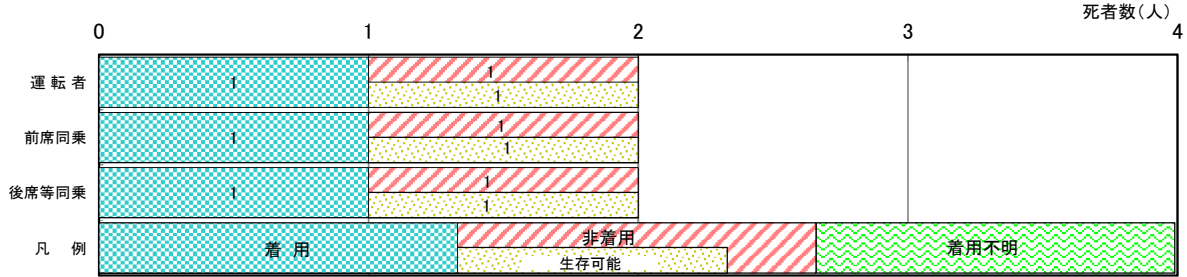
状態別 年齢層別		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数									2.7
16~24歳	死者数									1.4
25~29歳	死者数									1.4
30歳代	死者数									9.6
40歳代	死者数	1						1	11.1	11.0
50歳代	死者数					1		1	11.1	11.0
60~64歳	死者数	1						1	11.1	6.8
高齢者	死者数	4				2		6	66.7	56.2
65~69歳	死者数	1						1	11.1	9.6
70~74歳	死者数	1						1	11.1	6.8
75歳以上	死者数	2				2		4	44.4	39.7
計	死者数	6				3		9	100.0	
	構成率	66.7				33.3		100.0	—	—
	過去5年構成率	64.4	1.4		1.4	30.1	2.7	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者6人中、シートベルト非着用者は3人(50.0%)となっている。
非着用者の3人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用			非着用			着用不明
		計	運転者	同乗者 (助手席 後部席)	計	運転者 (生存可)	同乗者 (助手席 生存可 後部席 生存可)	
令和6年	6	3	1	1	3	1	1	1
構成率 (%)	100.0	50.0	33.3	33.3	50.0	33.3	100.0	33.3

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、75歳以上が2人(66.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルム着用				1		1	1		1			3
構成率 (%)				33.3		33.3	33.3		33.3			100.0
ヘルム非着用							3	1		2		3
構成率 (%)							100.0	33.3		66.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者3人の損傷加害部位をみると座席が2人(66.7%)、天井が1人(33.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明
ヘルム着用									1			2
構成率 (%)									33.3			66.7
ヘルム非着用								1	2			
構成率 (%)								33.3	66.7			
運転者								1				
構成率 (%)								33.3				
同乗者									2			
構成率 (%)									66.7			

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和4年度及び5年度(ここでは令和4年11月～令和6年2月)の計上は次のとおり。

年度区分		死者数					計
		11月	12月	1月	2月	3月	
令和5年度	死亡事故	15	12	6	3		36
	冬型事故	3	1	2	1		7
	スリップ	3	1		1		5
	視界不良			2			2
	わだち						
	その他						
令和4年度	死亡事故	13	6	13	3	4	39
	冬型事故		4	3	2		9
	スリップ		4	1	2		7
	視界不良			2			2
	わだち						
	その他						